

麦類赤かび病の防除について

4月上旬に、赤かび病の孢子形成及び飛散に好適な条件が散見され、ほ場における本病原菌の密度が高まっている可能性があります(病虫害情報第1号にて報告済)。小麦や六条大麦の赤かび病の効果的な防除時期は、「開花始め」と「その10日後」ですが、4月16日以降、赤かび病の感染増殖に好適な条件が、連続して確認されています(表)。

気象庁の1か月予報(4月25日発表)によると、今後の気温はかなり高く、降水量は平年並と予想されています。本病原菌の増殖に好適な条件となる恐れがありますので、**2回防除を徹底**してください。2回目防除は、1回目の薬剤散布の7~10日後です。2回目の防除が遅れている場合は、速やかに防除を実施してください。

また、気温が高く降雨が続く場合には、過去に赤かび病の発生が確認されたほ場では、2回目防除の7~10日後頃に3回目防除を検討してください。

表 4月の麦類赤かび病感染好適条件出現状況

日付	降水量 (mm)	温度(°C)			湿度(%) 平均	子のう殻 形成	子のう 孢子飛散
		平均	最高	最低			
4/1	0	15.3	21.4	9.6	40		
2	0	14.7	22.0	6.3	37		
3	71.5	12.9	15.4	11.0	80		◎
4	1.5	15.7	22.0	11.6	70	●	◎
5	0	13.9	19.0	9.5	62	●	▲
6	0	16.7	21.7	12.7	63		△
7	0	18.3	25.8	11.7	59		△
8	22.5	17.6	21.0	15.7	76	●	◎
9	47.5	14.8	19.5	9.5	63	●	▲
10	0	12.5	18.8	4.7	49		▲
11	0	15.5	20.8	10.8	54		△
12	0	17.8	24.4	12.2	55		△
13	0	18.3	25.6	12.3	58		△
14	0	19.5	25.6	14.4	59		△
15	0	18.9	24.9	14.7	62		△
16	13	17.9	19.9	16.2	71	●	◎
17	0	19.7	25.8	15.9	57	●	◎
18	0	17.9	22.3	14.1	52		△
19	0	18.5	24.9	12.8	34		△
20	0	19.7	26.5	11.5	39		△
21	14	17.9	21.6	15.1	68	●	◎
22	0	19.8	24.6	16.0	73	●	◎
23	5.5	17.6	18.7	16.2	82	●	◎
24	20.5	15.8	16.9	14.9	95	●	◎
25	0.5	19.0	24.8	13.0	58	●	◎

- 子のう殻形成好適日
●: 降雨直後(当日及び翌日)かつ平均気温が13°C以上であった日
- 子のう孢子飛散好適日
◎: 濡れ条件と温度条件を両方満たした日
▲: 濡れ条件のみを満たした日
△: 温度条件のみを満たした日
※ 濡れ条件: 降雨直後(当日または翌日)または湿度が80%以上
温度条件: 最高気温が15°C以上かつ最低気温が10°C以上
※ 岐阜市のアメダス地点データを基に作成(気象庁調べ)

- 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- 当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご利用ください。
岐阜県病虫害防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>